

水稻刈り取り適期診断方法

遅れ穂を除いた全ての穂のうち、山田錦で90%、その他の品種では85~90%が黄化したときが刈り取りの目安です。

刈り取り適期の診断は、稲ワラではなく籾全体を見て刈り取り日を決めましょう。

診断方法

1. 平均的な稲を3株選びます。各々の株の中で一番草丈の長い穂を1本取り、穂をしごいて籾をトレイなどに入れます。



2. 不稔・奇形籾を取り除いて**黄熟籾**と**青籾**に分け、それぞれの数を数えます。



3. 計算します。

黄熟籾数 ÷ 全籾数 × 100 = 黄熟籾率 (%)

目標黄熟籾率 (%) - 黄熟籾率 (%) = 刈り取りまでに増加が必要な未熟籾率 (%)

〔 山田錦 : 90%
その他 : 85~90% 〕

刈り取りまでに増加が必要な未熟籾率 (%) ÷ 1日当たり黄熟籾率増加割合

〔 9月上旬なら 2.5
9月下旬なら 1.9
10月上旬なら 1.7 〕

=今後必要な登熟日数(刈り取りまで、あと●日)

例) 9月上旬 キヌヒカリ 黄熟籾79粒、青籾19粒 の場合

$$79 \div 98 \times 100 = 80.6 (\%)$$

$$85 (\%) - 80.6 (\%) = 4.4 (\%)$$

$$4.4 (\%) \div 2.5 = \underline{1.76 \text{ 日}}$$

例) 9月下旬 山田錦 黄熟籾79粒、青籾19粒 の場合

$$79 \div 98 \times 100 = 80.6 (\%)$$

$$90 (\%) - 80.6 (\%) = 9.4 (\%)$$

$$9.4 (\%) \div 1.9 = \underline{4.9 \text{ 日}}$$

※ あくまで目安ですので、天候、稲の生育状況、ほ場条件などを考慮したうえで、刈り取り作業を行って下さい。